

1年次

# 生命科学・環境科学概論

## 【Introduction to Life and Environmental Science】

担当責任者 (医学部長)

ねらい

生命活動と環境の関わりをマイクロとマクロの視点から理解する。また、我々を取り巻く現在の地球環境を理解する。

学修目標

1. 生命活動の基本単位である細胞の営みと放射線への応答を説明できる。(Ⅱ-1)
2. ペプチド・ホルモンを例をあげてその作用を説明できる。(Ⅱ-6, V-1)
3. 地球温暖化・気候変動の現状を理解し、その改善策を説明できる。(Ⅲ-5)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための6回の小テストの結果と出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

なし(毎回、講義用資料を配付する)

○参考書

1. H. Lodish・他著 榎森康文・他訳「分子細胞生物学第9版」(東京化学同人)
2. 大西武雄・監修「新版放射線医学」(医療科学社)
3. 環境省「令和7年版環境白書」(日経印刷)

講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R8.10.1	木	1・2	生命活動とペプチド・ホルモン(小テスト1)	PS	02	14	01,05	佐藤 貴弘(学外)
10.8	木	1・2	細胞機能解析とがん治療(小テスト2)	PS PS	01 03	02 04	02 25	馬田 敏幸
10.15	木	1・2	放射線の健康影響(小テスト3)	PS	03	06	03	馬田 敏幸
10.22	木	1・2	環境汚染(小テスト4)	SO	01	05	01	馬田 敏幸
10.29	木	1・2	エネルギー資源と地球温暖化(小テスト5)	SO	04	03	01	馬田 敏幸
11.5	木	1・2	気候変動がもたらす自然災害(小テスト6)	SO	04	03	02	馬田 敏幸